

アルメイン専用錠

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

■梱包明細書

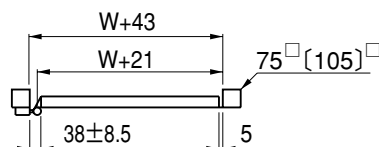
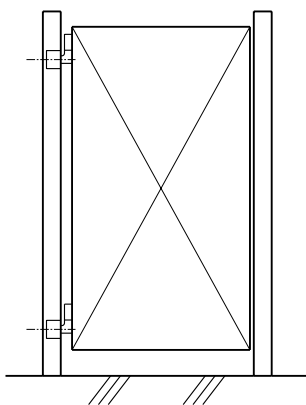
名 称	員 数	
	片錠	両錠
片錠取付セット	1	—
両錠取付セット	—	1
キー	3	3
ウケ	—	1
ハコウケ	—	1

名 称	員 数	
	片錠	両錠
ストライク取付ビスM4×10サラ	—	2
ストライク取付ビスM4×16サラ	2	—
ヒンジ取付ビスM4×10トラス	8	16
戸当たり取付ビスφ4×10トラス	4	4

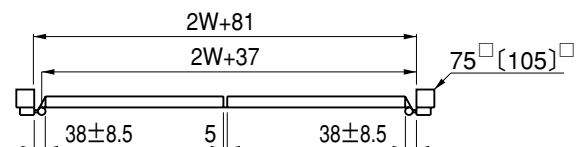
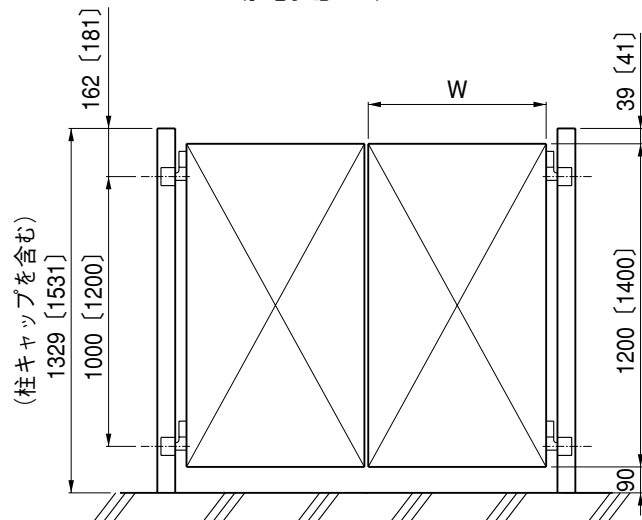
名 称	員 数	
	片錠	両錠
ヒンジ(上)	1	2
ヒンジ(下)	1	2
ヒンジカバー	2	4
ヒンジ裏板	2	4
ヒンジキャップ	2	4
落とし棒受け	—	1
ストライク	1	—
ストライク裏板	1	—
取付説明書	1	1
取扱説明書	1	1

1.施工寸法 ※図はH12内開きを示します。

〔片開き〕

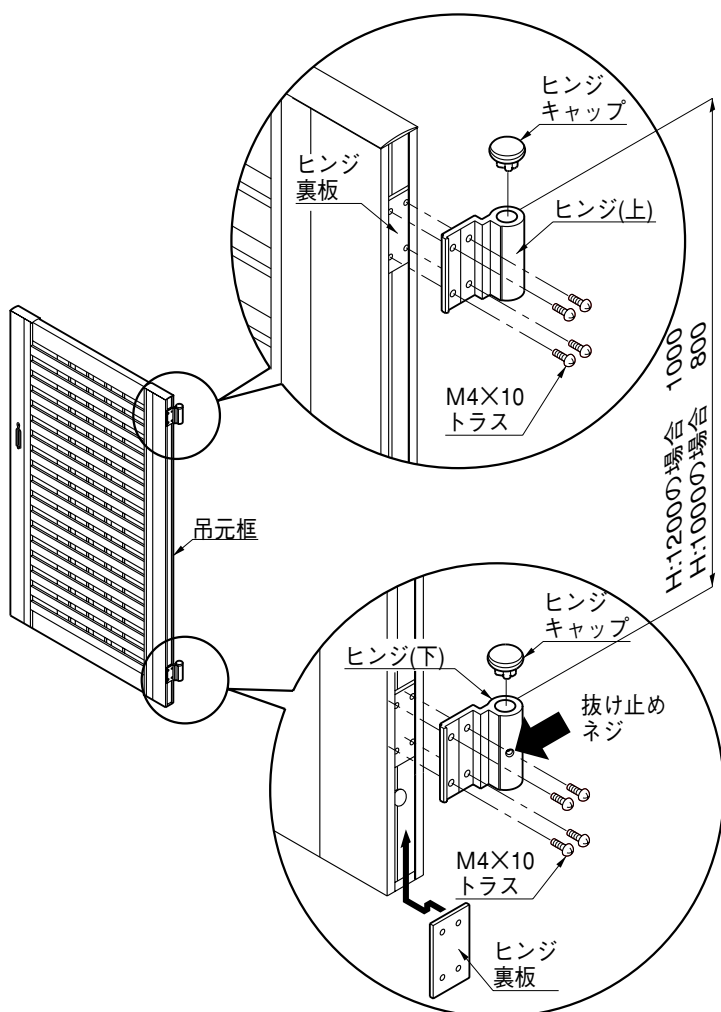


〔両開き〕



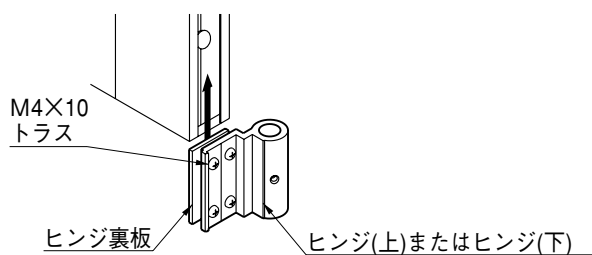
〔 〕 H : 1400の場合

2. ヒンジの取付け



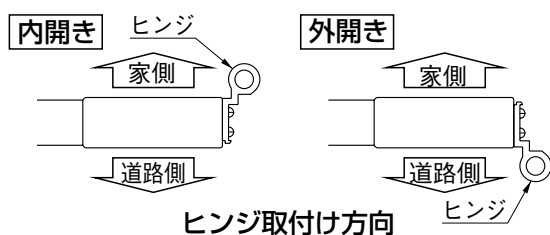
<注意>

- ヒンジにはヒンジ(上)とヒンジ(下)の区別があります。抜け止めネジがついているヒンジがヒンジ(下)です。



<注意>

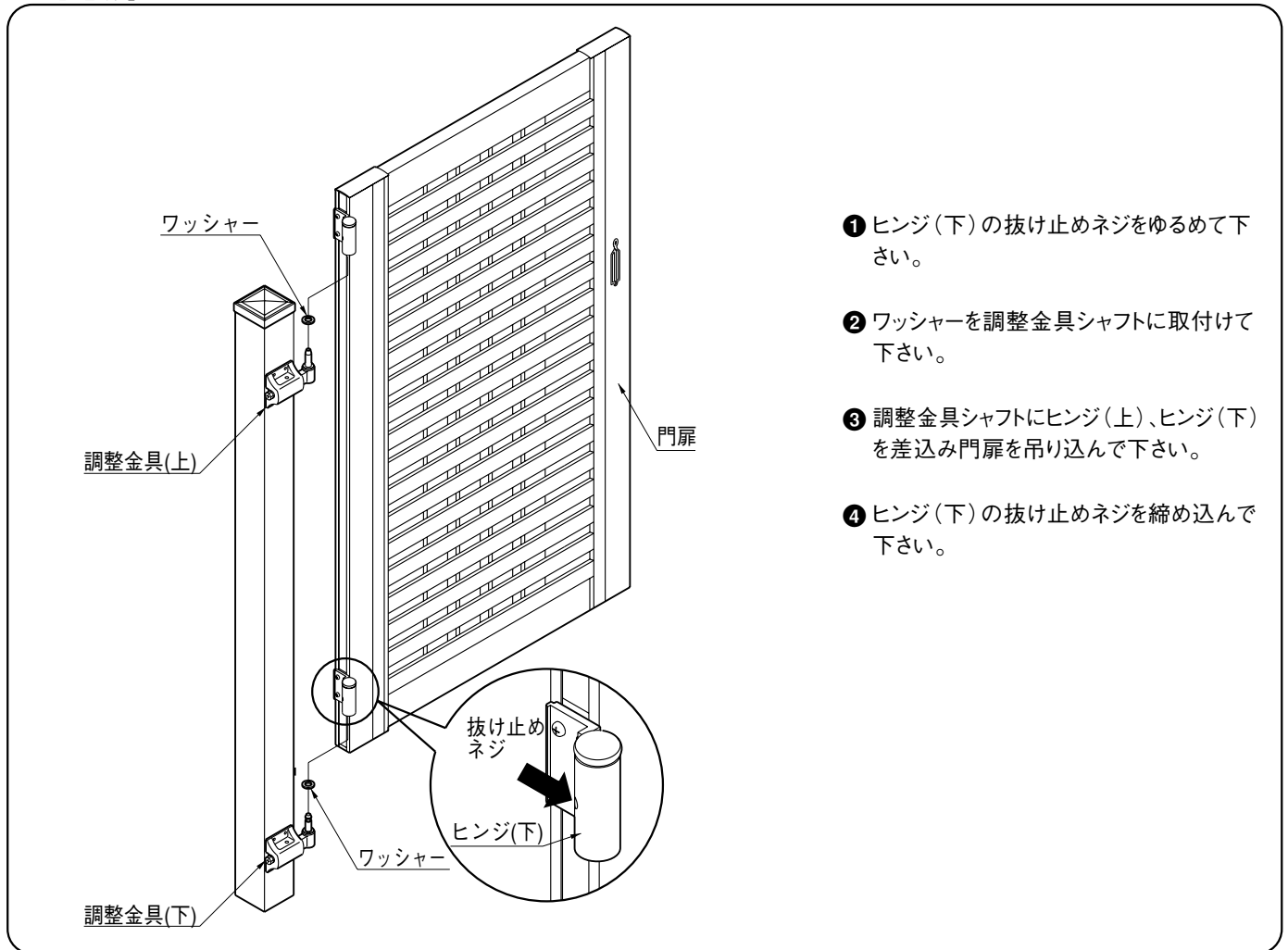
- あらかじめヒンジにヒンジ裏板を仮組した状態で吊元框にスライドさせると簡単です。抜け止めネジがついているヒンジがヒンジ(下)です。



<注意>

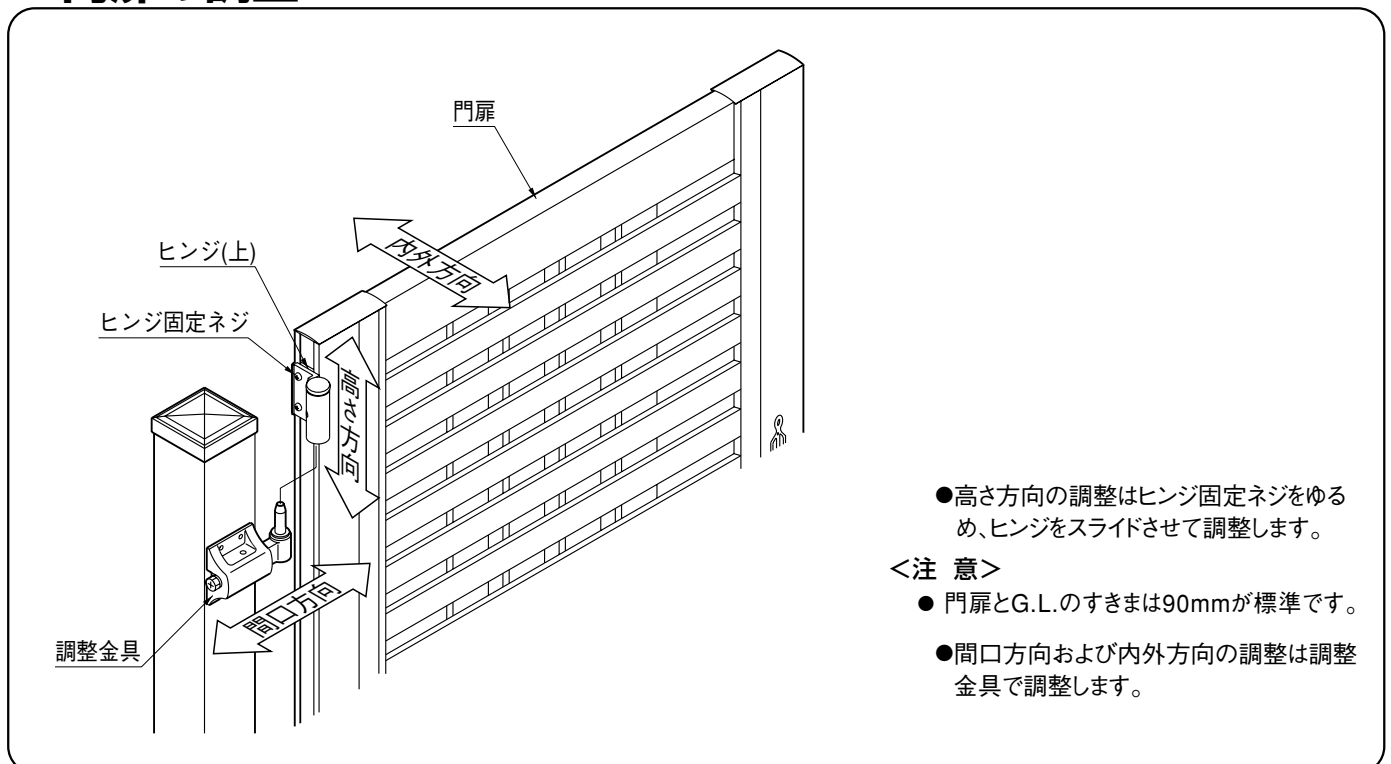
- ヒンジの向きは内開きと外開きで異なります。

3. 門扉の吊り込み



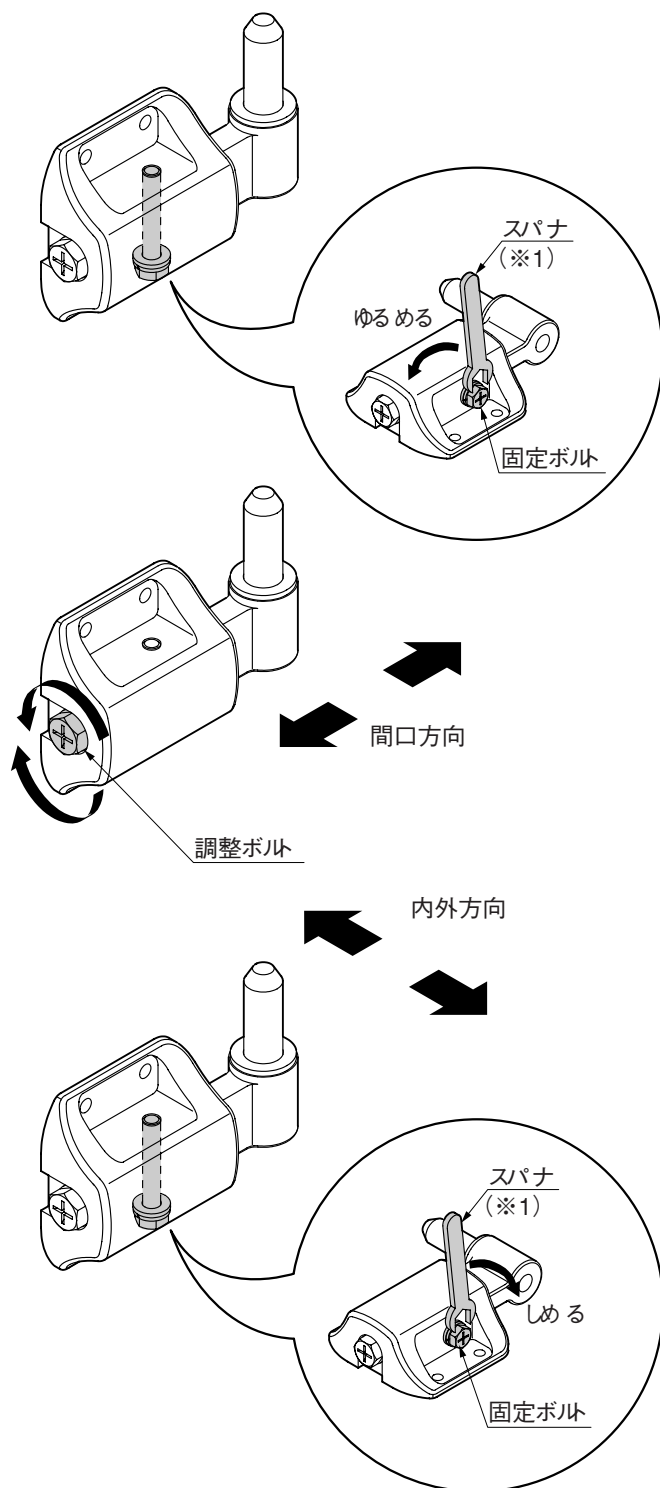
- ❶ ヒンジ(下)の抜け止めネジをゆるめて下さい。
- ❷ ワッシャーを調整金具シャフトに取付けて下さい。
- ❸ 調整金具シャフトにヒンジ(上)、ヒンジ(下)を差し込み門扉を吊り込んで下さい。
- ❹ ヒンジ(下)の抜け止めネジを締め込んで下さい。

4. 門扉の調整



- 高さ方向の調整はヒンジ固定ネジをゆるめ、ヒンジをスライドさせて調整します。
- <注意>
- 門扉とG.L.のすきまは90mmが標準です。
 - 間口方向および内外方向の調整は調整金具で調整します。

5.調整方法



① 固定ボルトをゆるめてください。

<注 意>

- 固定ボルトを締めたまま間口寸法の調整を行なうと調整機能が破損します。
- 必ず市販の呼び10スパナを使用してください。(※1)

② 調整ボルトをまわし、間口寸法を決めてください。

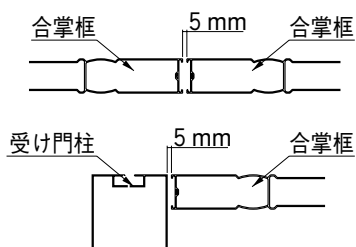
<注 意>

- 両開きの場合、合掌框と合掌框のチリ寸法は 5 ± 1 mmに調整してください。
- 片開きの場合、合掌框と受け門柱のチリ寸法も 5 ± 1 mmに調整してください。

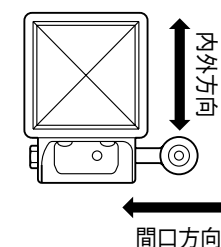
③ 内外寸法を決めたあと、固定ボルトをスパナで締付けてください。

<注 意>

- 必ず市販の呼び10スパナを使用してください。(※1)

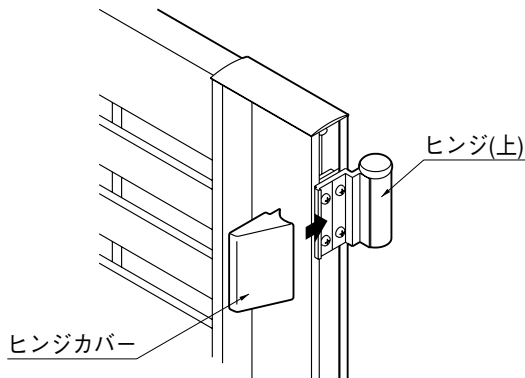


調整範囲



	調整金具H	調整金具O	調整金具J
内外寸法	± 4.5 mm	± 8.0 mm	± 7.5 mm
間口方向	± 8.5 mm	± 8.5 mm	± 8.5 mm

6. ヒンジカバーの取付け



- ① ヒンジ(上)およびヒンジ(下)にヒンジカバーをはめ込んで下さい。

7. 勝手の変更

勝手変更

門扉に取付てある錠本体は、右勝手（内開き）にセットされています。

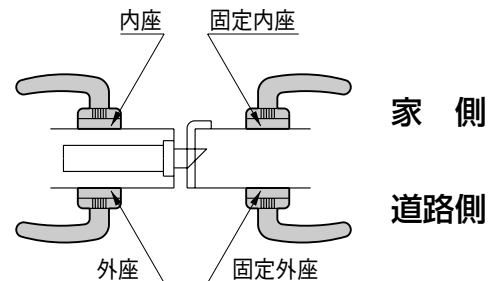
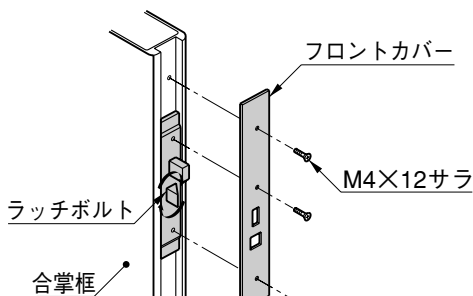
門扉の勝手を変える場合は、左図のようにフロントカバーを外してラッチボルトを回転させ、左勝手様にセットしなおしてから再びフロントカバーを取り付けて下さい。

A. 錠本体の勝手変更方法

- 1) フロント止めネジ（M4×8 \oplus サラ）をゆるめ、フロントをはずして下さい。
- 2) ラッチを抜き取り、開きを変えて差し込んで下さい。
- 3) 再び、フロントを取付けて下さい。

B. ハンドル座の勝手変更方法

- 1) 座は下図のように取り付けて下さい。
- 2) ハンドルは、ハンドル取付ネジが下になる様に取付けて下さい。



勝手変更方法

下の表に従って、勝手を、変更して下さい。

扉の勝手（図は扉を上から見た図です）	勝手変更
右勝手内開き 	勝手変更不要。 そのまま取付けて下さい。
右勝手外開き 	右記Aに従って、錠本体の 勝手を変更して下さい。
左勝手内開き 	右記A、Bに従って、錠本体 及び、ハンドル座の勝手を 変更して下さい。
左勝手外開き 	右記Bに従ってハンドルの 勝手を変更して下さい。

※外開きで180度開けたい場合は柱の裏面に道路側に施工して下さい。

8.錠の取付け

①長座の取付け

外長座④を扉の外側より取付けます。この時、長座柱⑤の4本のうち3本を錠丸穴に、又シリンダーバー⑦を錠ハブ穴⑧に差し込んで下さい。

注) デッドボルト⑨は引込めた状態で、しかもシリンダーのキーは抜き取った状態にて取付けを行って下さい。

次に、扉の内側より内長座⑩を当て、長座取付ネジ⑪にて内、外の両方を扉に固定して下さい。

注) エマープラグ⑫の溝はこの時縦方向になる様に、プラグ先端部をハブに差し込んで下さい。

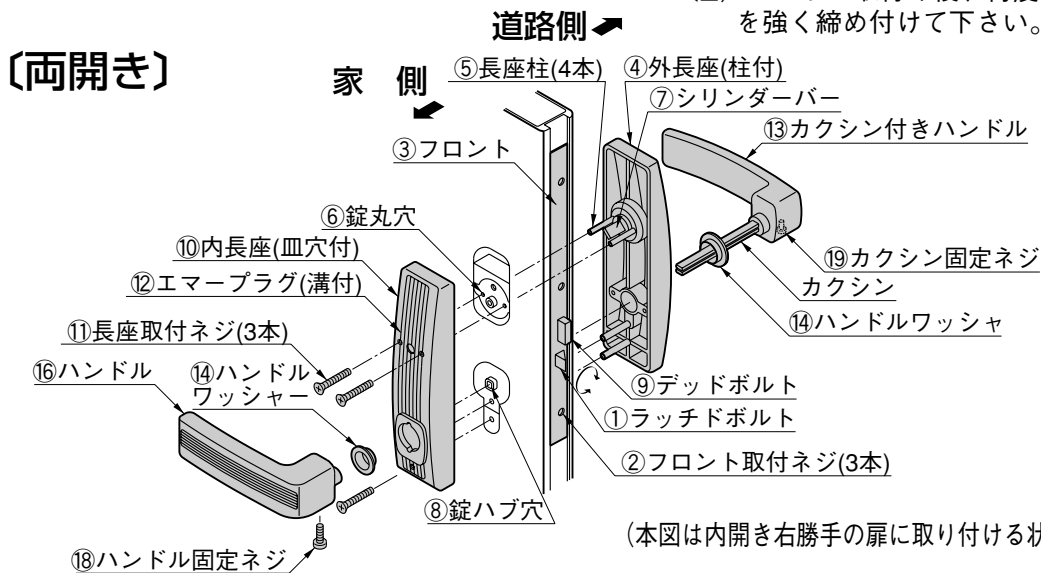
②ハンドルの取付け

カクシン付きハンドル⑬のカクシンを、ハンドルワッシャー⑭及び長座を介して錠角穴⑮に差し込んで下さい。

次に、反対側よりハンドル⑯をハンドをハンドワッシャー⑰を介してカクシンに差し込みハンドル固定ネジ⑱で強く締め付けて下さい。

注) ハンドル取付ネジはハンドルの下方向になる様に、カクシン付きハンドルを扉が右勝手の場合外長座側から、左勝手の場合内長座側から取付けを行なって下さい。

注) ハンドル取付け後、再度カクシン固定ネジ⑲を強く締め付けて下さい。



①固定ハンドルの取付け

固定ハンドル①を長座に付いているカクシン②に差し込みます。この時ハンドルに付いているロールピン③を同時に長座の穴に圧入して下さい。次に、ハンドル固定ネジ④でハンドルを長座に取付けて下さい。

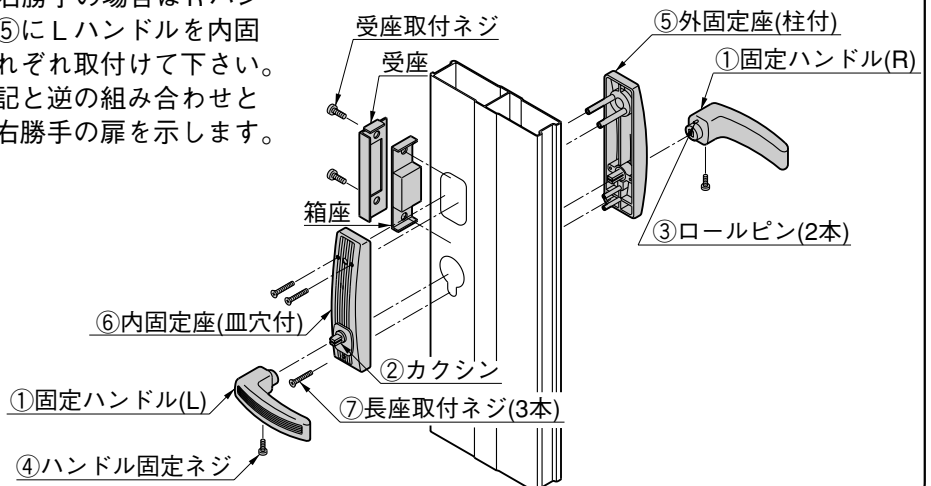
注) 固定ハンドルはR、Lの対になっています。扉の勝手に合わせて、右勝手の場合はRハンドルを固定座(柱付)⑤にLハンドルを内固定座(皿穴付)⑥にそれぞれ取付けて下さい。又、左勝手の場合は上記と逆の組み合わせとなります。尚、本図は右勝手の扉を示します。

②固定長座の取付け

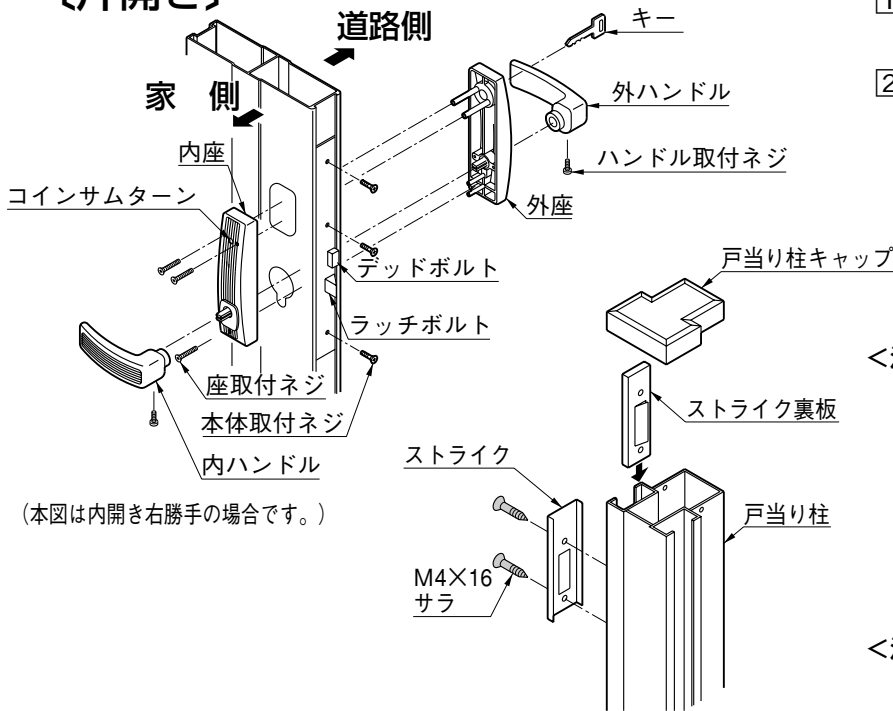
ハンドルを長座に取付け終わりましたら、扉外に側より外固定座⑤を又、扉内側より内固定座⑥を長座取付ネジ⑦にて扉に取付けて下さい。

③錠受け

ウケとハコウケをM4×10サラ2本で取付けて下さい。



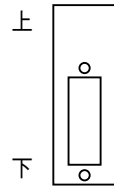
〔片開き〕



(本図は内開き右勝手の場合です。)

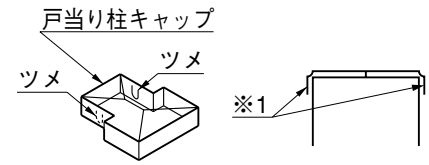
- ①勝手方向にストライクを裏板ではさみ込んで取付けます。(図は右勝手)
- ②戸当り柱キャップを取付けます。

ストライクの上下



<注意>

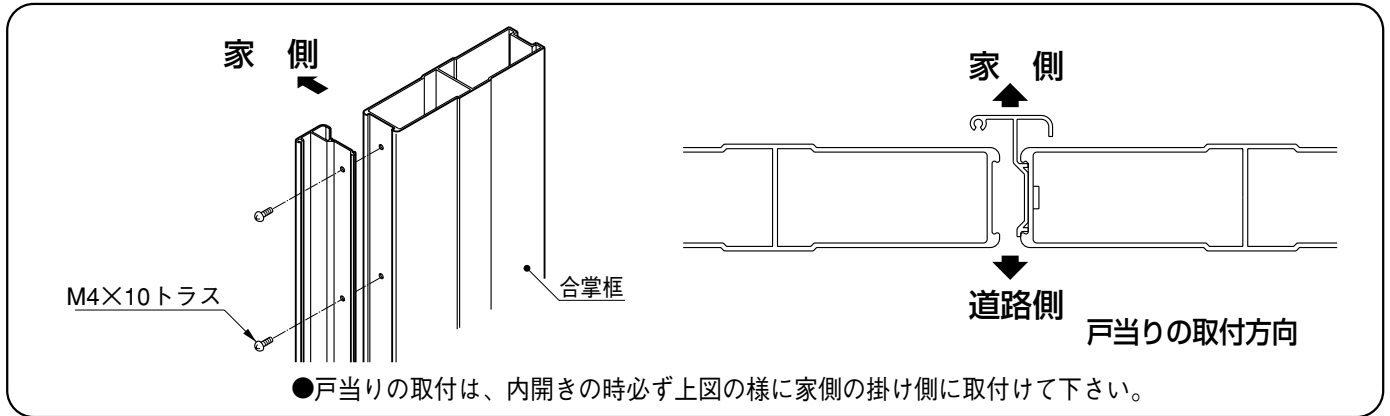
- ストライクには上下があります。



<注意>

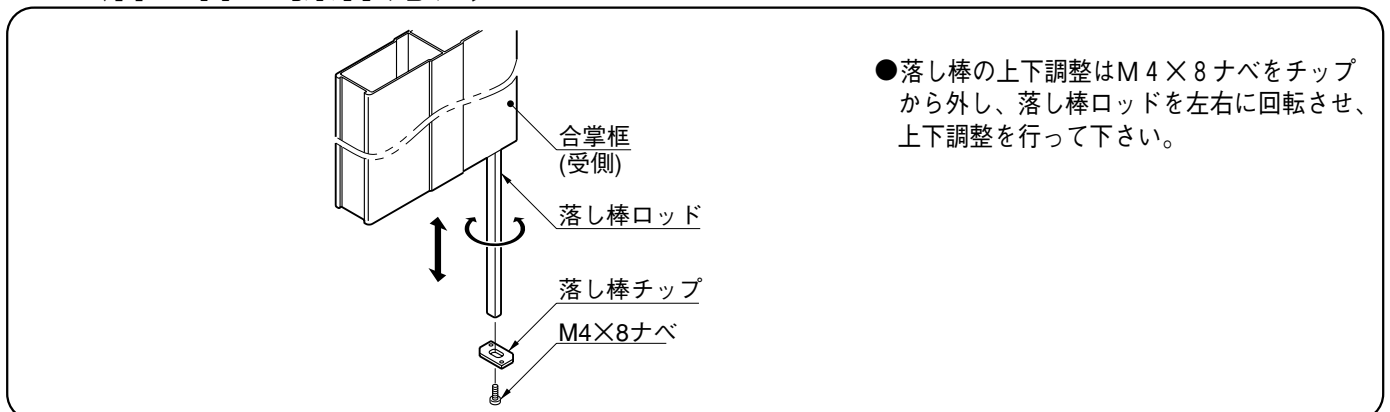
- 確実にツメが引っ掛かるようにはめ込んで下さい。(※1)

9. 全面戸当たりの取付け

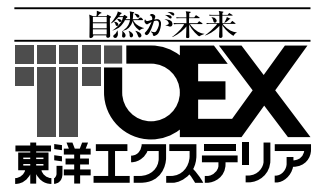


- 戸当りの取付は、内開きの時必ず上図の様に家側の掛け側に取付けて下さい。

10. 落とし棒の操作方法



- 落とし棒の上下調整はM4×8ナベをチップから外し、落とし棒ロッドを左右に回転させ、上下調整を行って下さい。



工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタル等は完全に拭き取って下さい。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更は避けて下さい。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡し下さい。

- 御使用いただきましてありがとうございました。

取説コード

A347

200209A_1001
200301C_1001